



# しいのみつうしん

第19号

## ☆アトピーについて☆



### (アトピーの原因)

アトピー性皮膚炎の発症には、遺伝的な素因はもとより、環境因子も大きくかかわっています。ダニ、ハウスダスト、カビなど、様々な原因が考えられており、一つだけの要因では説明できないのが現状です。しかし、基本は、①原因・増悪因子の除去 ②皮膚病変へのステロイド剤の外用、および抗ヒスタミン薬の内服 ③再発の防止となっています。

### (アトピーの薬)

#### ① ステロイド外用

抗炎症作用と免疫抑制作用を併せ持つステロイド外用薬は、皮膚の炎症性病変を早く軽減させるために使用されます。また、自覚症状の痒みを軽減させる作用も顕著です。ステロイド外用薬は、皮膚から直接吸収されることから、経口剤より即効性があり、作用も強力で、他の臓器への副作用も少なくなっています。強い抗炎症作用により、アトピー性皮膚炎治療の基本となっていますが、必ずしも効力の強いものが優れているとはかぎりません。副作用の少ないマイルドな作用を有するステロイド剤を適切に使用することで、治療効果が上がることが分かっています。

以下にアトピー性皮膚炎の治療に用いられるステロイド外用薬を紹介します。

#### 最強 Strongest

デルモベート、ジフラルム、ダイアコート

#### 非常に強力 Very Strong

マイザー、ネリゾナ、ビスダーム、アンテベート、フルメタ、メサデルム、リンデロンDP

#### 強力 Strong

リンデロンV、ベトネベート、プロパデルム、ボアラ、フルコート



中間 Medium

ロコイド、キンダバート、アルメタ



弱い Weak

テラ・コートリル、オイラックスH、ネオメドロールEE

② 保湿薬 ヒルドイドソフト、ヒルドイドローション、ウレパール、ウレパールL

③ 皮膚保護剤 プロペト（ワセリン）

④ 抗ヒスタミン薬(飲み薬)

アトピー性皮膚炎の自覚症状としての痒みを軽減する目的で用いられます

ペリアクチン、アタラックス、アレジオン、ザジテンなど

(アトピー・アレルギーの改善のために)



①アトピーのスキンケア

毎日の入浴やシャワーを励行し皮膚を清潔にし、同時に保湿にも心がけましょう。また、強い紫外線を避け、衣服や下着はなるべく刺激のすくないものを選びましょう。

②ハーブ療法によるアトピー、アレルギーの改善

ハーブによる治療法には即効性はありませんが、洗浄作用を持つハーブは、身体機能の正常化を助けるとともに、アレルギーを軽減してくれます。また、ハーブは免疫を刺激して、強化してくれます。また、ハーブの香りには、リラックス効果も期待できます。ここで、大人と子ども両方に楽しめるハーブティーを紹介しておきます。材料は、薬局やハーブ専門店で購入できます。

(ベース) カモミール (消炎作用)

+

ネトル (抗アレルギー、血液浄化)

バードック (体質改善作用) 3歳以下は除く

ローズヒップ (ビタミンCの補給)

ダンディライオン (肝機能の強化) 3歳以下は除く



症状と好みに合わせて、数種類ブレンドするのがおすすめです。のみにくい場合は、ステビアを少量加えると甘くなり、のみやすい味になります。

☆どんなハーブの成分も一部の方にはアレルギーを起こす可能性があります。また、妊娠中や治療を受けている人は、事前に医師や薬剤師、ハーブの専門家に相談してください。

しいのみ薬局	関市上白金 105-1	☎0575-27-0130	Fax 0575-27-0131
しいのみセツ薬局	岐阜市北山 1-14-27	☎058-241-1818	Fax058-241-1839
華陽しいのみ薬局	岐阜市祈年町 1-19-2	☎058-271-1640	Fax058-275-1949